

5 協議

(1) 令和5年度ジェネリック医薬品安心使用促進事業計画(案)について

1 事業目的

平成3年度の山形県におけるジェネリック医薬品の使用割合は、85.4%で全国5位となっている。

県としては平成30年度からの「第7次 山形県保健医療計画」及び「第3期 山形県医療費適正化計画」において、後発医薬品使用割合を80%以上とすることを目標としていることから、患者の経済的負担の軽減や、医療保険財政の改善のため、後発医薬品の使用割合の向上を目指し、その達成に向けて活動を行うこととする。

① 山形県ジェネリック医薬品安心使用促進協議会の開催

ア 目的 ジェネリック医薬品に関する使用状況等の情報共有やジェネリック医薬品安心使用促進事業計画(案)の協議を行う。

イ 開催日時 令和5年7月10日(月) 15:00~16:30

ウ 開催場所 山形県庁 会議室

② ジェネリック医薬品製造工場見学会の実施

ア 目的 県民を対象とした工場見学会を実施し、実際に製造現場を見ることで品質管理に係る不安の払拭を図る。

イ 実施方法

開催時期	令和5年8月8日(火)
会場	東和薬品株式会社 山形工場
対象者	小学4~6年生及びその保護者 20組程度
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェネリック医薬品の説明 ・3グループに分かれての見学 ・実験、体験

③ 県内基幹病院におけるジェネリック医薬品採用リストの更新

ア 目的

昨年度と同様、地域の中核的な役割を果たす医療機関で採用されているジェネリック医薬品を集約し作成した「汎用ジェネリック医薬品リスト」を更新して情報提供を行うことで、地域の医療機関や薬局におけるジェネリック医薬品の採用に資するようとする。

イ 方法

(a) 県内における次の中核病院に対し、現在使用しているジェネリック医薬品リストの提供

を依頼する。(令和5年10月頃)

(計11病院)

【山形大学医学部付属病院、県立中央病院、山形市立病院済生館、済生会山形済生病院、県立河北病院、北村山公立病院、県立新庄病院、公立置賜総合病院、米沢市立病院、日本海総合病院、鶴岡市立荘内病院】

(b) リスト更新作業 (令和5年11月～令和6年1月)

③ 更新リストを県内医療機関(病院・診療所・薬局:合計約2,100施設)に送付するほか、当該リストを県ホームページに掲載する。(令和5年2月)

④ 県内医療機関(病院・診療所・薬局)におけるジェネリック医薬品使用状況調査

平成20年度(H20.12月中旬～1月中旬、実施)、平成25年度(H26.2月初旬～中旬)、平成30年度(H31.2月初旬～下旬実施)と5年ごとに調査を実施しているが、今年度(リスト発送と同時に行う)は、例年の調査内容に、最新の「汎用ジェネリック医薬品採用薬リスト」の効果、使用の有無の検証を加え、調査を実施する予定とする。

⑤ ジェネリック医薬品に関する意識調査

ジェネリック医薬品の使用割合が低い小児の保護者を対象に、小児科の門前薬局の協力を得て、薬局での待ち時間を利用して保護者へのアンケート調査を実施する。